

「ピンポン。また来ましたよ。月に一度、私は受け持ちの区域を巡回する。」

その中で95歳の星野さん(仮名)とはいつも長話になる。星野さんは話上手で面白い。この日はこんな話に耳を傾けた。

「先日ね、婦人科に入院したよ。看護師が病室に入ってきて、とても優しく接してくれるので、この人はいい人だなと喜んだの。ところがね、部屋を出て行くなり、他の看護師とワハハと大声を出して笑っているの。この変わり身の早さ、どう思いますか？」

「正直、腹が立ちましたよ。でもね、私考えました。看護師さんは毎日患者さんと接しているわけですよ。患者の痛みをいちいちわが事にしていたら身が持ちません。だから実はあの人のそのプロの看護師なんだと見直したのよ。」
星野先輩、素敵な話をありがとう。次はどんな話ですか？
また来ます。

第37号

2024 Nov.

令和6年11月30日

発行：平塚市民生委員
児童委員協議会

ひらつか 民児協だより

— 支えあう 住みよい社会 地域から —



風速 30m 雨量 50mm 風水害体験



東日本大震災級/震度7体験

写真：神奈川県総合防災センターHPより



写真：平塚市HPより

●崇善地区
明日はわが身。「防災」を真剣に学ぼうと、皆が思った。

令和6年元旦、能登半島地震発生。最大震度7。

「明日はわが身だね。突然の災害時に慌てないよう対処法を知っておかない」と会長が発案し、3月、総勢二五名で神奈川県総合防災センター(厚木市)に向いた。

センターには精巧な防災体験装置が複数ある。

- ① 地震体験(東日本大震災、阪神淡路大震災他)
- ② 風水害体験(風速30m以上)
- 現在、雨体験は休止中。
- ③ 煙避難体験
- ④ 心肺蘇生体験
- ⑤ 消火体験

どれも現実の災害を想定した体験だ。

*

体験学習を終えて、参加者のYさんは言った。

「震度7体験は体が震えました。こんな非常時では自分の命を守るだけで精一杯です。しかし、それでもなお、他者のためにできることはないか、と考える自分もどこかにいました。貴重な体験でした」

☆ 一斉改選に向けて

令和7年12月の一斉改選まで、残り1年となりました。現時点での大まかなスケジュールをお知らせします。

◆スケジュール(予定)

- 令和6年 10月 委員継続意向調査
- 12月 委員継続意向調査票の回収
- 令和7年 2月 地域(自治会)へ委員継続意向調査結果を提供
- 4月～各地域で推薦準備会の開催
- 7月 候補者の推薦
- 8月～追加候補者の推薦
- 12月 一斉改選

※令和7年12月1日(月)に委嘱式を予定しています。

ひらつかあんしんカード

緊急時の適切な処置や、親族・関係機関などへの円滑な連絡のため、かかりつけ医療機関や、緊急時の連絡先などを書いたカードを用意しておく安心です。民生委員児童委員の他、ケアマネジャーや高齢者よろず相談センターからお渡ししています。

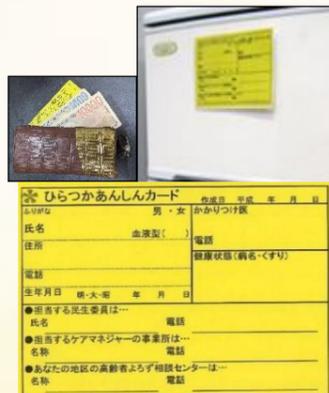
配付を希望される民生委員児童委員の方は、事前に市高齢福祉課に御連絡のうえ、お受け取りをお願いします。

◆対象者

ひとり暮らしの方や高齢者のみの世帯の方等で配付を希望される方

◆使い方

「あんしんカード」には大小2種類のカードがあり、小さなカードは半分に折り畳み、お財布等に入れて外出時の持ち歩き用とし、大きなカードは保険証の写しと一緒にソフトケースに入れて自宅の冷蔵庫に貼っておきます。



花水地区

親子で作った七夕飾り
願い事はなくに？



民生委員児童委員活動の1つに子育てサロンがあります。

子育てサロンは、0歳から未就学児と保護者が対象で、毎月第4月曜日に花水公民館で開催しています。主任児童委員が中心となり区域担当の民生委員児童委員も皆さん交代でお手伝いをしています。

六月二十四日は平塚の七夕まつりに合わせて「七夕飾り作り」を企画し実施しました。

当日は暑い日でしたが、大勢の方の参加で賑わいました。短冊に親子で願い事を書いたり、絵を描いて記念の短冊を作りました。作った七夕竹飾りはみなさんお家に持ち帰り、一部を公民館に展示しました。竹飾り作りの後は、親子体操で体を動かしたりして楽しみました。

ひらつか民児協だより 第37号

発行日：令和6年11月30日

発行人：小原公一(民児協会長)

編集人：中山裕史(広報部会長)・Aグループ

発行所：平塚市民生委員児童委員協議会

住所：平塚市浅間町9番1号

電話：0463-21-9848

富士見地区

シャボン玉が宙に舞った
富士見の夏まつり



梅雨が明け、記録的な暑さの中、去る七月二〇日に第十六回富士見地区夏まつりが富士見小学校庭で開催されました。

猛暑を吹っ飛ばす中学生のブラスバンド、子どもたちの大好きな出店、そこに、民児協は恒例のシャボン玉コーナーで参加し、風に乗った小さなシャボン玉から大きなシャボン玉、浴衣のオシャマさん、わんぱく坊や、そして、見守る保護者の方々の瞳が、キラキラ輝き、これから始まる楽しい夏を歓迎しているかのようでした。

酷暑の中、夏休みの思い出の一ページを盛況のうちに無事終了できたこと、皆様方のお力に感謝するとともに、来年の夏につなげていきたいと思えます。

なでしこ地区

おたのしみ会
集まり食べる喜び

なでしこ地区では、社協・福祉村・民児協および一般のボランティアの方々との協力を得、食事会を行っています。

食事会は、七十五歳以上の方を自治会単位で二つに分け、二日間でいきます。

コロナ前は、食事が終わると懐かしい歌を唄ったり、よろず相談センターの方々の指導で、頭の体操や手足を動かしたりと、出来ても出来なくても笑顔が絶えませんでした。

今はまだ以前のようにはいきませんが、六月のおたのしみ会では、福祉村の村長さん（百歳です！）から、戦争の悲惨さや私たちが知らない時代のお話を生の声で聞くことが出来ました。おたのしみ会を開けるということの喜びを感じています。



真土地区

だれも置き去りにしない
真土の地域づくり



真土地区では、乳幼児から高齢者の方々がいきいきと生活していくために「子育て支援びよびよ」「ふれあいサロン」「ふれあい農園」を開催しています。

子育て支援びよびよでは、0～2歳児を対象に、毎月第3金曜日に、保育士や保健師さんのお話、季節に合わせた遊び（5月はこいのぼり飾り、8月はスイカ割り、12月はクリスマスマス会）など、親子で楽しい時間を過ごしています。ふれあいサロンでは、60歳以上のひとり暮らしの方々を対象に、毎月1回午前中に、健康体操、みんなで歌おう、脳トレで楽しもうプログラムを組んでいます。

ふれあい農園では、毎週水曜日に有志が集まり、じゃがいも、にんじん、レタス、豆等を栽培しています。

収穫した野菜はみんなで試食、敬老の集いのおみやげ品として喜ばれています。

港地区

宅配弁当と昼食会「楽志亭老生さんの落語も聴けました」

地区社協との協働事業である宅配弁当と昼食会を紹介します。両事業とも七十歳以上の独居者を対象に各々年四回実施。

宅配弁当は、社協が弁当を購入して、民生児童委員が個人宅に配達をしています。弁当の種類は、和風、洋風、サンドイッチなどで数量は各回、百五十個程度です。

昼食会は、食生活改善推進団体ママの会も加わってもらう三団体協働の「お楽しみ昼食会」です。須賀公民館でママの会の手作り料理を社協・民生委員児童委員スタッフで配膳し、一緒に楽しく食事をします。

また、調理の時間中には落語、紙芝居などの余興があります。なお、この昼食会の始まりは、昭和五十年代の民生委員児童委員とボランティア団体による手作りの調理に遡ります。



松原地区

児童養護施設「心泉学園」

スタッフの意識と対応に学ぶ



民生委員児童委員のステップアップに向けて、二宮町二宮にある児童養護施設「心泉学園」を訪問しました。児童養護施設とは、保護者のいない児童、虐待されている児童等を入所させて養育し、自立を支援する施設です。

心泉学園は児童定員七十名、満二歳から一八歳の児童を対象にしています。児童は集団生活の中で協調性と情操を身に付ける指導を受け、学校への登下校は学園から。

研修で次のような事を知りました。地域の子どもと同じ経験をさせ、学校の懇談会には、先生方も参加。二宮町に受け入れてもらい、町の行事に参加している事等。先生方の努力に頭がさがります。

八幡地区

子育て広場「のびのび」

歌い・遊び・本を読む

八幡地区では、毎月の第三月曜日十時から0歳児～未就学児を対象の「子育て広場のびのび」を開催。多くの参加親子と楽しく交流し、親睦を深めています。

活動内容は「歌う・体を動かす・おもちゃで遊ぶ」を中心に、曆に合わせた工作やスタッフによる手遊び歌、絵本の読み聞かせ等を行っています。

他にも地域担当の保育士・保健師の方に協力を頂いて、ふれあってもらうことや、リトミックや体操の講師を招き、子どもと一緒に体を動かして楽しむこと等行っています。運営側の私たちも参加親子の笑顔にほっこりしたり、子どもたちの成長に驚かされたり。これからも楽しみながら子育て仲間が集まれる空間のお手伝いができると思っています。

